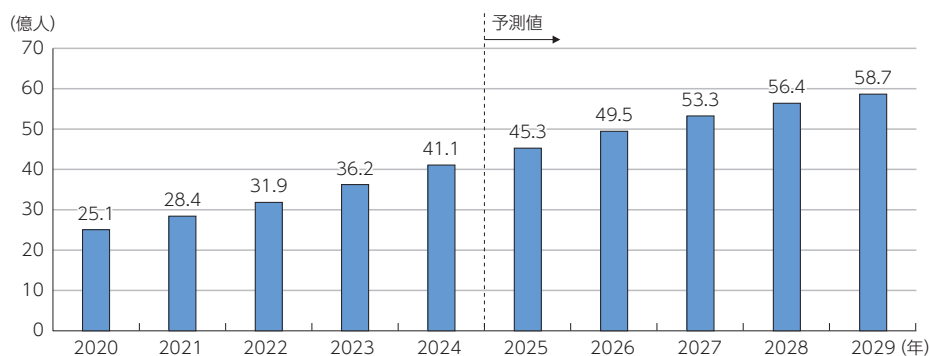


第7節 ICTサービス及びコンテンツ・アプリケーションサービス市場の動向

1 SNS

世界のソーシャルメディア利用者数^{*1}は、2024年の41.1億人から2029年には58.7億人に増加すると予測されている。テキストによるコミュニケーション用途だけでなく、ショート動画の視聴といった用途での利用も増えている。(図表Ⅱ-1-7-1)。

図表Ⅱ-1-7-1 世界のソーシャルメディア利用者数の推移及び予測



(出典) Statista (2025年2月1日取得データ) を基に作成^{*2}

2 EC

世界のEC市場の売上高は、引き続き増加傾向で推移し、2024年の7.2兆ドルから2028年には10.4兆ドルまで拡大すると予測されている。国別の2024年から2029年までの年平均成長率は、トルコ、ブラジル、インド、メキシコ等が高い一方、日本、米国、ドイツ等は世界平均を下回るものと予測されており、韓国は特に低い成長率になると予測されている。

関連データ 世界のEC市場の売上高の推移及び予測

URL : <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/datashu.html#f00238> (データ集)



関連データ 各国のEC市場の成長率 (2024年～2029年)

URL : <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/datashu.html#f00239> (データ集)



3 検索サービス

デスクトップの検索サービスの世界市場はGoogleが高いシェアを誇っているものの、近年は徐々に低下し2024年12月時点では79.1%となっている。一方、Bingのシェアが拡大傾向であり、2024年12月時点では11.9%と二桁のシェアまで拡大している。Microsoft社のブラウザ「Edge」がデフォルトの検索サービスとしてBingを設定しており、これもBingのシェア拡大に貢献していると考えられる。

日本では、2024年12月時点のパソコン、スマートフォン並びにタブレットにおいて、いずれもGoogleが7割以上を占め最も高いシェアを誇る。また、パソコンではBingのシェアが12%程度、スマートフォンやタブレットではYahoo!のシェアが1%未満となるなど、端末毎の傾向の差も見られる。

*1 ソーシャルメディアサイトやアプリケーションを月1回以上利用する人

*2 <https://www.statista.com/forecasts/1146659/social-media-users-in-the-world>

関連データ 世界における検索サービスのシェア（デスクトップ）の推移

URL : <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/datashu.html#f00242>（データ集）



関連データ 世界における検索サービスのシェア（モバイル）の推移

URL : <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/datashu.html#f00243>（データ集）



関連データ 日本における検索サービスのシェア

URL : <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/datashu.html#f00244>（データ集）



4 動画配信・音楽配信・電子書籍

世界の動画配信・音楽配信・電子書籍市場は、定額制サービスの普及や新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う在宅時間の増加などにより取り込んだ需要を維持・拡大しており、2024年には合計で1,803億ドル（前年比12.1%増）となっている。

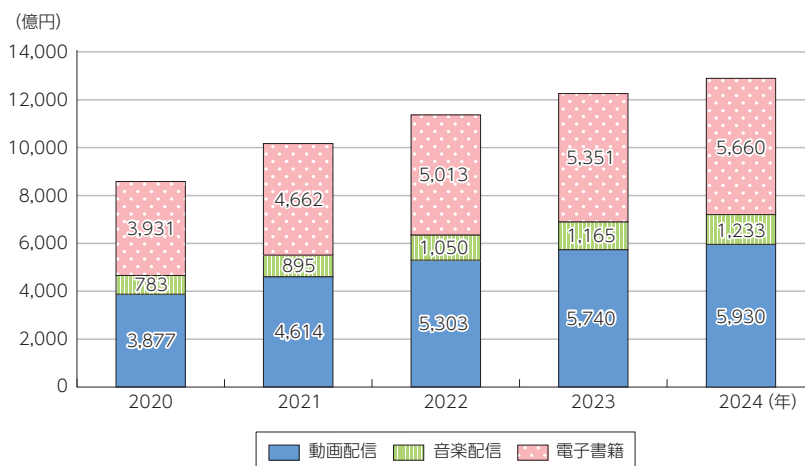
関連データ 世界の動画配信・音楽配信・電子書籍の市場規模の推移及び予測

URL : <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/datashu.html#f00245>（データ集）



また、2024年の日本の動画配信市場は5,930億円（前年比3.3%増）、音楽配信市場は1,233億円（前年比5.8%増）、電子書籍市場は5,660億円（前年比5.8%増）となっており（図表Ⅱ-1-7-2）、世界の動向と同じく、いずれの市場も成長している。

図表Ⅱ-1-7-2 日本の動画配信・音楽配信・電子書籍の市場規模の推移



（出典）GEM Partners「動画配信（VOD）市場5年間予測（2025-2029年）レポート」*3、一般社団法人日本レコード協会「日本のレコード産業2025」*4、全国出版協会・出版科学研究所（2025）「季刊 出版指標 2025年冬号」*5を基に作成。

*3 <https://www.gem-standard.com/columns/1029>

*4 <https://www.riaj.or.jp/f/pdf/issue/industry/RIAJ2025.pdf>

*5 <https://shuppankagaku.com/wp/wp-content/uploads/2025/01/%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B92501.pdf>

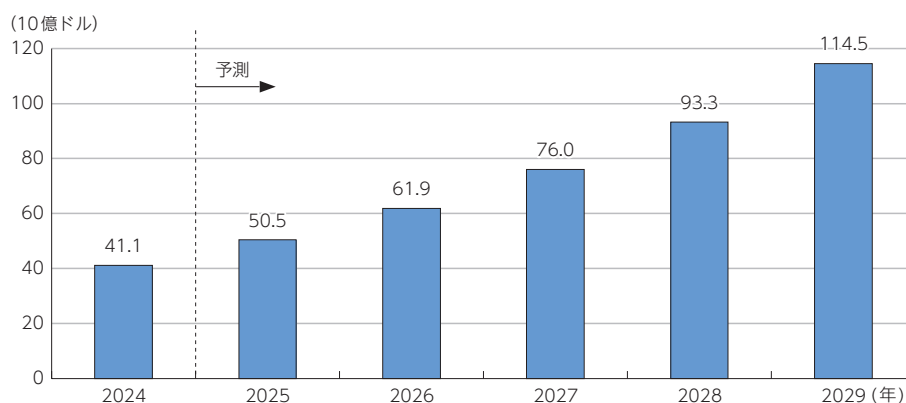
5 ICT サービス及びコンテンツ・アプリケーションサービス市場の新たな潮流

1 自動運転

自動運転については、地方自治体や民間企業による社会実装及び大学や民間企業における研究開発により、レベル4（特定条件下における完全自動運転）の実現に向けた取組が進んでいる。AI技術を用いる仕組みへとシフトしつつあるとともに、詳細なルールが記述できる従来のロボット工学的なアプローチを統合したハイブリッドフレームワークの開発も進んでいる^{*6}。

世界の自動運転の市場規模は、2024年に400億ドルを超え、2029年には約1,100億ドルの規模に達すると予測されている（図表Ⅱ-1-7-3）。

図表Ⅱ-1-7-3 世界の自動運転の市場規模



（出典）BNP Paribas（Statistaより引用（2025年3月12日取得データ））を基に作成^{*7}

2 メタバース

世界のメタバース市場は、2024年の744億ドルから2030年には5,078億ドルまで拡大すると予測されている（図表Ⅱ-1-7-4）。内訳はメタバース内でのeコマースが最も大きく、次いでゲーム、ヘルス&フィットネスとなっている。市場を牽引するのは、メタバースを楽しむためのハードウェアではなく、主に消費者向けのメタバースサービスだといえる。

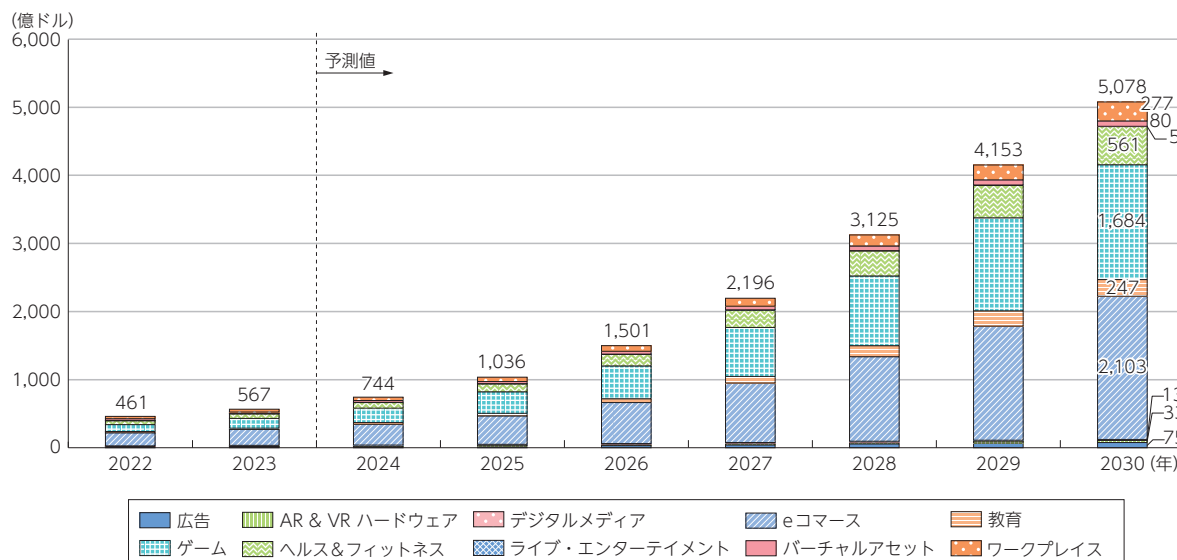
日本のメタバース市場（メタバースプラットフォーム、コンテンツ、インフラ、メタバースサービスで利用されるXR（VR、AR、MR）機器の合計^{*8}）は、2024年度に2,750億円（前年度比47.6%増）となる見込みで、2028年度には1兆8,700億円まで拡大すると予測されている（図表Ⅱ-1-7-5）。今後は、XRデバイスの進展やAI技術の発展、メタバースの認知向上などによって市場が拡大することが期待される。

^{*6} https://tier4.jp/media/detail/?sys_id=6UQblxseKbqGhwF0d0573W&category=NEWS

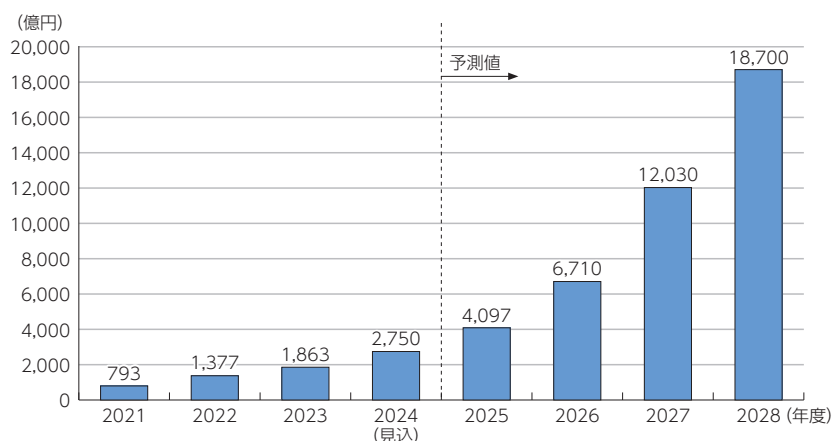
^{*7} <https://www.statista.com/statistics/428692/projected-size-of-global-autonomous-vehicle-market-by-vehicle-type/>

^{*8} プラットフォーム、コンテンツ、インフラは事業者売上高ベース、XRデバイスは販売価格ベースで算出している。

図表Ⅱ-1-7-4 世界のメタバース市場規模の推移と予測

(出典) Statista (2025年2月1日取得データ) を基に作成^{*9}

図表Ⅱ-1-7-5 日本のメタバース市場規模 (売上高) の推移と予測



※1 市場規模はメタバースプラットフォーム、コンテンツ、インフラ等、メタバースサービスで利用されるXR (VR/AR/MR) 機器の合算値。プラットフォーム、コンテンツ、インフラ等は事業者売上高ベース、XR機器は販売価格ベースで算出している。

※2 エンタープライズ (法人向け) メタバースとコンシューマ向けメタバースを対象とし、ゲーム専門のメタバースサービスを対象外とする。

(出典) 株式会社矢野経済研究所「メタバースの国内市場動向調査 (2024年)」(2024年12月9日発表)

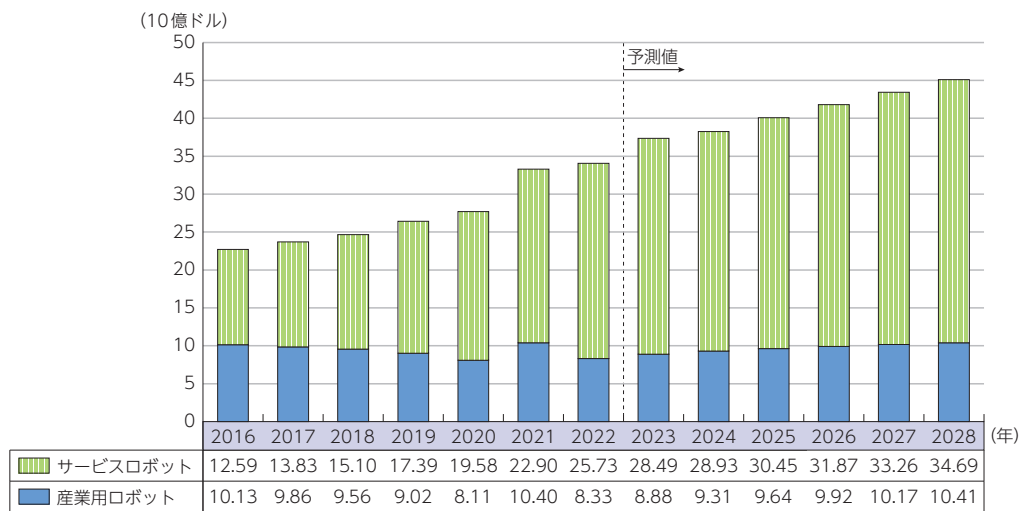
3 ロボット

ロボットは、多種多様な種類があり、産業、家庭、医療、エンタメ等様々な分野で利用されている。特にAI技術の応用により、更に高度なロボットの登場が期待されている。

世界のロボット市場は、2022年に341億ドルであったが2028年には、451億ドルに増加すると予測され、2022年から2028年の年平均成長率 (CAGR) は4.8%である。内訳をみると、サービスロボットは2022年に257億ドルから2028年には347億ドル (CAGRは5.1%)、産業用ロボットは2022年の83億ドルから2028年には104億ドル (同3.8%) に増加する見込みである。2016年からの市場規模の推移をみると、サービス用ロボットが市場全体の成長を牽引しているといえる (図表Ⅱ-1-7-6)。

*9 <https://www.statista.com/outlook/amo/metaverse/worldwide>

図表Ⅱ-1-7-6 世界のロボット市場規模の推移及び予測

(出典) Statista (2025年3月12日取得データ) を基に作成^{*10}^{*10} <https://www.statista.com/forecasts/1384829/global-robotics-revenue-by-category>